



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名 亀田製菓株式会社

上場取引所 東

コード番号 2220 URL <http://www.kamedaseika.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 通泰

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営統括本部長 (氏名) 佐藤 勇

TEL 025-382-2111

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	37,499	△0.5	1,115	73.2	1,439	37.4	1,018	160.8
23年3月期第2四半期	37,688	△1.1	643	△36.8	1,047	△17.5	390	△36.4

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 829百万円 (629.4%) 23年3月期第2四半期 113百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	47.88	—
23年3月期第2四半期	18.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	52,689	29,321	55.3
23年3月期	54,087	29,197	53.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 29,115百万円 23年3月期 28,966百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
24年3月期	—	11.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,000	2.7	3,600	8.1	4,100	4.1	2,300	8.9	108.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	22,318,650 株	23年3月期	22,318,650 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,230,508 株	23年3月期	919,448 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	21,262,299 株	23年3月期2Q	21,695,798 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月に発生した東日本大震災の影響による生産活動の停滞や輸出の減少等から持ち直しつつあるものの、福島原子力発電所の事故による風評被害や節電対応、また欧米経済の減速懸念や円高進行など、先行き不透明な状況が続きました。

食品業界においても、消費者の節約志向や低価格志向などにより厳しい市場環境が継続しました。

このような状況の中、当グループは平成21年度からの3カ年中期経営計画の最終年度を迎え、「グローバル・フード・カンパニー」の実現を目指し、国内主力ブランドの強化による成長の加速、コスト競争力の強化、海外事業の推進などに取り組んでまいりました。さらに、食の安全・安心を確保するために、原料および製品の検査体制の一層の強化、7月から施行された原料米原産国表示の対応を進め、ピークカット対応と省エネ推進のために夏場の節電などに取り組みました。

国内においては、厳しい市場環境の中、主力商品ブランドを中心とした販売活動に注力し、「亀田の柿の種」、「ハッピーターン」、「手塩屋」、「まがりせんべい」などが前年同期を上回る実績となりました。また、新商品については全体的に伸び悩み、苦戦する形となりましたが、8月には「海苔のめぐみ」、「香る焼えび」、期間限定商品「亀田の柿の種ピッツァ」を発売し、ご好評いただいております。

海外においては、中国では引き続き内需向け商品の販売拡大に取り組み、米国では6個装の「亀田の柿の種」や「揚一番」を発売し、アジア系スーパーを中心に販売を拡大しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、37,499百万円(前年同期比188百万円の減少)となりました。

利益面については、原材料価格の高騰や減価償却費の増加などコスト増加要因はあるものの、収益性の高い主力商品ブランドの集中生産により生産コストが削減できたほか、子会社の収益改善やグループ全体で取り組んでいるコスト削減活動の成果、役員退職慰労引当金の取り崩しによる特別利益の計上などにより前年同期に比べ増益となりました。以上の結果、営業利益1,115百万円(前年同期比471百万円の増加)、経常利益1,439百万円(前年同期比391百万円の増加)、四半期純利益1,018百万円(前年同期比627百万円の増加)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は20,209百万円となり、前連結会計年度末に比べ834百万円減少いたしました。これは主に「現金及び預金」が1,847百万円増加した一方、「受取手形及び売掛金」が2,599百万円減少したことによるものであります。固定資産は32,480百万円となり、前連結会計年度末に比べ562百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産の「その他」が673百万円増加した一方、「機械装置及び運搬具」が719百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、52,689百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,397百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は13,972百万円となり、前連結会計年度末に比べ640百万円減少いたしました。これは主に「賞与引当金」が126百万円増加した一方、「支払手形及び買掛金」が461百万円減少したことによるものであります。固定負債は9,396百万円となり、前連結会計年度末に比べ880百万円減少いたしました。これは主に「長期借入金」が450百万円減少や「その他の引当金」が331百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、23,368百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,520百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は29,321百万円となり、前連結会計年度末に比べ123百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益1,018百万円及び剰余金の配当235百万円、自己株式の取得470百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は55.3%（前連結会計年度末は53.6%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,772百万円増加し、7,415百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は4,113百万円（前年同期比2,094百万円の増加）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益や減価償却費、売上債権の減少による資金の増加、およびその他の引当金の減少や仕入債務の減少による資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1,163百万円（前年同期比1,403百万円の支出減少）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1,185百万円（前年同期比377百万円の支出増加）となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出、自己株式の取得や配当金の支払いによる支出によるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績は平成23年10月20日に業績修正を行いました。平成24年3月期の連結業績予想につきましては、消費者の節約・低価格志向の継続や原材料価格の推移など業績に影響を与える不確定要素があり、修正は行いません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,673,880	8,521,654
受取手形及び売掛金	10,053,765	7,454,618
商品及び製品	1,018,310	1,347,684
仕掛品	530,044	516,332
原材料及び貯蔵品	1,411,853	1,328,294
その他	1,366,594	1,049,400
貸倒引当金	△10,440	△8,704
流動資産合計	21,044,008	20,209,279
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,965,870	8,698,634
機械装置及び運搬具（純額）	9,576,296	8,856,301
土地	6,642,902	6,642,902
その他（純額）	466,474	1,139,821
有形固定資産合計	25,651,543	25,337,659
無形固定資産		
のれん	19,643	16,621
その他	662,689	645,976
無形固定資産合計	682,333	662,598
投資その他の資産		
その他	6,771,506	6,541,401
貸倒引当金	△62,311	△61,311
投資その他の資産合計	6,709,195	6,480,090
固定資産合計	33,043,072	32,480,347
資産合計	54,087,081	52,689,626

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,139,494	4,677,813
短期借入金	2,735,000	2,735,000
未払法人税等	562,391	471,230
賞与引当金	1,091,891	1,217,964
その他の引当金	388,000	230,500
資産除去債務	77,401	76,730
その他	4,618,658	4,562,992
流動負債合計	14,612,838	13,972,231
固定負債		
長期借入金	3,135,000	2,685,000
退職給付引当金	6,415,212	6,276,598
その他の引当金	331,900	—
資産除去債務	73,933	75,200
負ののれん	23,056	11,528
その他	297,502	347,922
固定負債合計	10,276,604	9,396,249
負債合計	24,889,443	23,368,481
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,946,132	1,946,132
資本剰余金	486,533	486,533
利益剰余金	28,580,660	29,363,334
自己株式	△1,413,729	△1,883,831
株主資本合計	29,599,597	29,912,168
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△221,413	△202,344
繰延ヘッジ損益	23,348	△28,868
為替換算調整勘定	△435,004	△565,137
その他の包括利益累計額合計	△633,069	△796,349
少数株主持分	231,109	205,326
純資産合計	29,197,637	29,321,145
負債純資産合計	54,087,081	52,689,626

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	37,688,475	37,499,797
売上原価	22,885,203	22,345,559
売上総利益	14,803,272	15,154,237
販売費及び一般管理費	14,159,517	14,038,974
営業利益	643,755	1,115,263
営業外収益		
受取利息	6,342	6,461
受取配当金	55,997	55,337
負ののれん償却額	11,528	11,528
持分法による投資利益	288,876	249,827
その他	109,955	82,225
営業外収益合計	472,699	405,379
営業外費用		
支払利息	22,337	28,488
為替差損	22,057	23,083
その他	24,883	29,953
営業外費用合計	69,278	81,524
経常利益	1,047,176	1,439,118
特別利益		
貸倒引当金戻入額	5,140	—
役員退職慰労引当金戻入額	—	309,500
特別利益合計	5,140	309,500
特別損失		
固定資産処分損	136,277	103,277
投資有価証券評価損	86,699	1,178
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	98,573	—
特別損失合計	321,550	104,455
税金等調整前四半期純利益	730,766	1,644,162
法人税、住民税及び事業税	222,251	461,844
法人税等調整額	141,878	169,947
法人税等合計	364,129	631,792
少数株主損益調整前四半期純利益	366,636	1,012,370
少数株主損失(△)	△23,795	△5,694
四半期純利益	390,432	1,018,064

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	366,636	1,012,370
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50,098	19,260
繰延ヘッジ損益	△42,598	△52,216
為替換算調整勘定	△42,642	△42,115
持分法適用会社に対する持分相当額	△117,645	△108,297
その他の包括利益合計	△252,984	△183,368
四半期包括利益	113,652	829,001
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	145,572	854,785
少数株主に係る四半期包括利益	△31,919	△25,783

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	730,766	1,644,162
減価償却費	1,502,384	1,747,411
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	98,573	—
のれん償却額	3,022	3,022
負ののれん償却額	△11,528	△11,528
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,140	△2,237
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△101,447	△138,614
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△44,105	126,072
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△89,827	△489,400
受取利息及び受取配当金	△62,339	△61,798
支払利息	22,337	28,488
持分法による投資損益 (△は益)	△288,876	△249,827
固定資産処分損益 (△は益)	82,966	71,830
売上債権の増減額 (△は増加)	2,608,219	2,592,748
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△409,856	△247,027
仕入債務の増減額 (△は減少)	△639,951	△472,304
その他	△547,376	△207,470
小計	2,847,820	4,333,526
利息及び配当金の受取額	284,893	327,102
利息の支払額	△30,459	△32,317
法人税等の支払額	△1,082,943	△514,727
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,019,311	4,113,583
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△56,000	△77,040
有形固定資産の取得による支出	△2,329,740	△1,020,006
有形固定資産の売却による収入	3,758	456
投資有価証券の取得による支出	△7,376	△7,421
その他	△177,766	△59,277
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,567,125	△1,163,289
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△104,517	—
長期借入金の返済による支出	△397,206	△450,000
自己株式の取得による支出	△28,879	△470,102
配当金の支払額	△260,153	△235,436
その他	△16,765	△29,543
財務活動によるキャッシュ・フロー	△807,521	△1,185,083
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,408	6,840
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,365,742	1,772,051
現金及び現金同等物の期首残高	6,793,295	5,643,065
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,427,553	7,415,116

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。